地域の一員として

報恩積善会は大正元年より地域の皆様に支えられ運営を行ってきました。地域のつながりが希薄化している中、施設も地域の一員として地域に貢献できる取り組みを行っています。

「つしまみんな食堂（こども食堂）」は、顔の見える関係、地域のつながりを作る場として2018年より地域の方が始められ、子供から高齢者まで参加し多世代交流を図りながらみんなで調理や食事を楽しんでいます。

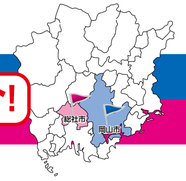
報恩積善会は活動当初より公益的な取り組みとして住民の方と協働し、地域交流スペースの貸し出し、栄養士が献立作成や栄養計算の実施、けがをした時の看護の協力など安心して参加していただける環境を整えています。また広報や実習受け入れを通じた学生ボランティアの募集など社会資源として施設機能を活かした協力を行っています。

地域の幅広い世代の方へ報恩積善会を「知ってもらうこと」、知っていても施設へ訪れることがない人には「来てもらうこと」ができるようになりました。今ではたくさんのつながりができ、高齢者だけでなく広く地域で困っている人への支援や地域の方や色んな機関よりお声がけを頂けることが多くなりました。

今年はコロナ禍で施設の利用制限をする必要があり施設での開催が難しい状況が続いておりますが、地域の方と共に関わり方を検討しながら活動へ関わりを続けていきたいと思います。

田淵　由春
養護老人ホーム 報恩積善会

ぼっけぇ B-OK! 職員紹介!



フードドライブについて

総社市では市内の社会福祉法人や地元企業が協力し、定期的にフードドライブを開催しています。フードドライブは、頂きものや買いすぎてしまった食品など、家庭や企業で余った食品を募り、総社市社会福祉協議会の生活困窮センターを通じて生活に困窮されている方に提供する活動です。

日本では年間2,000万トンの食品が廃棄され、その中にはまだ食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」が500～800万トンもあると言われています。フードドライブを通して、そういった食品ロスの防止にも役立っています。

今年の10月24日に開催した「フードドライブ」では、米や穀物を始め、インスタント食品やレトルト食品、調味料や飲料など921品196kgの食品が集まりました。当法人を含め12もの社会福祉法人がスケールメリットを活かし、職員や関係者へ協力を依頼することで毎回多くの食品を集めることができています。

社会福祉法人の義務である「地域への公益的な活動」を通して、より地域に根差した社会福祉法人を目指していきたいと考えています。

守安　伸聡
社会福祉法人 雪舟福祉会

「介護の日」オンラインフェス

11月11日は「介護の日」です。毎年この時期に他の介護・福祉団体と共同でイベントを開催していますが、今回はコロナ禍となり会場でのイベントは中止し、オンラインフェスとしての開催となりました。

若い世代を含めより幅広く県民の皆様に、介護の魅力・未来・可能性を発信することを目的に特設サイトを立ち上げ、企画「特別対談」に当協議会21世紀委員会メンバーが登壇しました。対談の内容は、ICTや介護ロボットの活用、外国人介護人材、コロナ禍での取組み、介護の魅力など、山陽新聞にも掲載されました。ぜひ、対談の内容をご覧下さい！

「2020介護の日岡山オンラインフェス特設サイト」
https://okayamafukushi-kaigonohi.com/

予告! 輝く Kaigo の人達 写真スライドショー

介護の仕事の「働きがい」や「やりがい」を発信している「輝くKaigo の人達写真パネル展」を、今年はインターネットで視聴できるスライドショーとして作成することといたしました。ご利用者様の笑顔のためにがんばっている輝く職員の姿をぜひ視聴してみてください！

なお、動画は youtube の岡山県老施協チャンネルで掲載する他、岡山駅や倉敷駅のデジタルサイネージでも配信する予定です。

「岡山県老施協チャンネル」
https://www.youtube.com/channel/UCANn6_hLrdozbp2Lze0YN9A

編集後記 あとがき

『コロナ禍で厳しい自粛生活を強いられている中でもB-OK！は新しい生活様式を実践しての活動や取り組みをお伝えしました。この重苦しい状況はしばらく続きそうですが介護（福祉）の魅力！を発信してまいりますので宜しくお願いいたします。』
（コロナ収束へ）また あした！！

【発行年月日】令和3年2月1日
【発行責任者】岡山県老人福祉施設協議会　会長 小泉 立志
【事務所連絡先】
〒700-0807　岡山県岡山市北区南方2丁目13-1
きらめきプラザ内
TEL.086-226-3529　FAX.086-227-3566
URL http://www.okayama-roushikyo.jp/

岡山県老人福祉施設協議会 情報誌

B-OK! Vol.7

岡山県老施協のぼっけぇところをぎょーさん教えちゃるけぇ

ぼっけぇ
「ぼっけぇ」とは岡山弁で"とても"を意味する言葉です。

B-OK！【第7弾】令和第2号

コロナ、コロナの状況で世の中の生活様式が一変しました。今号はそんなコロナの話題がほとんどですが、私たちはコロナ禍でも様々なことに取り組んでいます！

コロナに負けません！！

［久しぶりの滑り台］
養護老人ホーム倉敷市長楽荘（倉敷市）

特集 コロナ禍における施設の取り組み

美作　コロナ禍のなかでも楽しい日々を

特別養護老人ホーム日本原荘

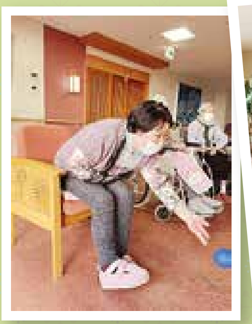
令和２年の秋からボッチャ（パラリンピックの正式種目である障がい者スポーツの１つ）を導入して、ご利用者の皆様が楽しまれています。

令和２年度はコロナ禍で、外部からのボランティア芸能も全て中止となり、ご家族との面会にも制限がかかる中、何か施設内で出来る新しい楽しみはないかという事で、取り入れる事になりました。

始めて行うスポーツでしたが、皆さん直ぐに慣れて、車椅子の方でも、麻痺などがある方でも、楽しむことが出来ていました。

「こりゃ～簡単でええわ～」「簡単じゃけど難しいな～」「ゲートボールを昔はよ～しょ～ったわ」など笑顔で話される姿に、職員の方が元気づけられています。

新型コロナウイルスによる影響は、これからも当面続く事と思われます。そんな中でも、少しでもご利用者一人ひとりが自分らしく、笑顔で生活出来るような暮らしを作っていきたいですね。



備前　コロナ禍でも「インターンシップ」活動中！

特別養護老人ホームさくら木

県立瀬戸南高等学校の生徒さんの「インターンシップ」（就業体験）を行いました。

インターンシップの目的は、①地域の産業や仕事に触れ、進路選択の認識を深める、②就業体験にて仕事の意義や役割を理解し職業観・勤労観を身につける、③人とのふれあいを通して、言葉遣いや態度、マナーを身につけ、今後に生かす、という３つになります。

ご利用者との交流や手作業の補助、レクリエーションや体操などを体験し、ある日のコメントに「ご利用者とずっと一緒にいさせてもらって楽しかったです！」とあり、最終日には“何かをつかみ心に刻まれたようないい顔”をしていました。

コロナ禍で高校としてもなかなか受け入れ先が難しい中で、インターンシップの趣旨に共感し、一人でも介護福祉を知り関心を持って欲しい想いから受け入れました。もちろん感染症対策に細心の注意を払っています。今回の経験を活かした生徒さんの今後の活躍に期待しています。

備中　マスク作りで地域と繋がる

特別養護老人ホームのぞみ荘

新型コロナウイルスの影響で衛生用品が足りない！！！高齢者施設にとって、衛生用品の一つ「マスク」は必ずと言って必要な物です。地域との関りも十分に出来ない中、何か出来ないか？「マスクを作ろう」この提案が地域と一体となり、たくさんのマスクを必要な方へ届ける事が出来ました。

【地域との繋がり①】
倉敷市水島の呉服店「かぶき」さんより「さらし」を提供して頂きました！

【地域との繋がり②】
地域のサロンに参加されているメンバーの方と一緒にマスクを作成

【地域との繋がり③】
活動内容を倉敷市社会福祉協議会さんと共有！

ご利用者や地域の方へ気持ちのこもったマスクが届けられました！

岡山市　岡山市地区の取り組み

新型コロナウイルス感染症により、私たち高齢者施設でもその影響は多大で、面会・ボランティアの受入・行事の中止や実習受入の制限、地域活動の制限など様々に影響を受けています。

そのような中で、近隣地域での感染状況を考慮し、政府や行政から発令される感染対策を取り入れつつ、各施設それぞれに“出来る事”“出来る方法”を検討しながら、ご入所の方々へ少しでもこれまでと同じ「普通の生活」「楽しみ」「人との関わり」ができるよう工夫を凝らして活動しています。

特別養護老人ホーム愛光苑では平成８年から続く音楽療法を、座席の間隔を広く取りマイクを活用するなど工夫しながら継続しています。

また特別養護老人ホーム若宮園では地域活動の一環の小学校への出張福祉講座を、今年はクラス単位に分け会場の換気をしながら実施しました。その他各施設がオンライン面会や小規模に再編したイベント開催など、with コロナの精神で前向きに取り組んでいます。

コロナ終息を願う「キャンドルリレー」展開中！

介護施設では多くの制限を受け、緊張と不安な日々が続いています。当協議会も事業の実施に大きな影響を受けています。そんな状況から一日でも早いコロナ終息を願い、県内の会員施設で繋ぐ「願いのキャンドルリレー」を企画しました。

キャンドルのやわらかな灯りが創る幻想的で非日常的な空間は、日々制限を受けているご利用者様や介護従事者に、大きな感動とひと時の安らぎを与えてくれています。実施した施設からは「涙が出た」「心が洗われた」「光が見えた」など感動と希望の声が多く聞かれています。

実施施設（特別養護老人ホーム＝省略）
ますみ荘、倉敷シルバーセンター、鶯園、シルバーセンターセレーノ総社、南光荘、高寿園、オペラハウス鴨方、あじさいのおか牛窓、おもいやり、王慈園、きび庭瀬（2020年12月現在、実施予定施設を含む）

新型コロナ感染症　行政の取り組み

重症化や集団感染リスクの高い高齢者施設に対し、行政から様々な支援、対策が実施されています。予防対策の情報提供、感染対策オンラインプログラムの提供、衛生用品等の支援、各種補助金など多岐に渡ります。

又、広く一般に向けても各種対策や様々な情報の提供がされています。予防対策の方法、発熱時の病院受診などに加え、厚生労働省発表の「新しい生活様式」はよくご存じのことと思います。又、コロナ禍の長期化により精神的な負担も大きくなっている状況から、心の相談窓口なども開設されています。

様々な情報が飛び交う中だけに正確な情報が求められます。不明なことなどありましたらお近くの行政機関にお問い合わせ下さい。

岡山県　岡山市　倉敷市　感染対策動画

感染症発生時の応援職員派遣事業について

岡山県老施協では、県内会員施設において感染症（クラスター）が発生した際に他の会員施設から職員の応援派遣を行う体制を構築しました。この体制は岡山県行政との協力により行うもので、去る令和２年11月27日に県知事との覚書の締結式を行いました。

応援職員については、会員施設へ１施設１名ずつの事前登録の募集を行いましたが、100名以上の登録があり、万が一の時に助け合いができるよう体制を整えることが出来ました。施設や法人の枠を越えたこの体制は、登録いただいた施設・職員の気持ちがなければできないものです。ありがとうございました。